



# 会報

## No.93号

(公社) 茨城県臨床検査技師会 事務所 〒310-0851 水戸市千波町 1918-1 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 3F  
MAIL ibaringi@ibaraki-amt.jp / TEL 029-244-4790 / FAX 029-244-5063



## 会員・賛助会員の皆様へ

公益社団法人 茨城県臨床検査技師会  
会長 大塚 光一

初夏の候、会員・賛助会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より公益社団法人茨城県臨床検査技師会の事業活動にご協力・ご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、2026年5月31日に開催された通常総会において役員改選が行われ、2026・2027年度の役員20名および監事2名の就任が可決されました。また、その後の臨時理事会において、役員の役職および職務が承認されました。大変恐縮ではありますが、私が会長職を拝命しましたので、新役員を代表してご挨拶を申し上げます。

昨年度は茨城県臨床検査技師会として創立75周年を迎え、お陰様で無事記念式典を開催することができました。会員並びに賛助会員の皆様に、改めて感謝申し上げます。技師会として一つの節目を経て、今後の更なる発展に向けて新たなスタートを歩み始めております。当会のコンセプトである「継続・創造・協調」を胸に刻み、執行理事一同、着実に事業を推進してまいります。

さて、先の通常総会において今年度の事業計画（案）が承認されました。今年度は、茨城県臨床検査学会の開催年です。2026年11月15日（日）、ホテルレイクビュー水戸にて開催いたします。なお、疾病予防啓発事業である『全国「検査と健康展」in Ibaraki』との同時開催となります。会員の皆様からの積極的な演題登録と数多くの参加をお待ちしております。

共益事業の一つである広報事業は大きな転換点を迎えており、会誌・会報のデジタル化が承認されました。茨城県臨床検査技師会のホームページからの発信となりますが、会誌は、年1回、会員専用ページでの掲載になります。会報は、現在の茨臨技ニュースに統合し、タイムリーな話題を随時配信いたします。技師会活動の情報や研修会情報の取得などに際して、更にホームページを活用していただきたく存じます。

2010 年より活動を継続してきた監理人財育成部会「水戸塾」は、「青年部[水戸塾]」として新たな人財育成の形を展開してまいります。青年部自らが人財育成研修会の企画運営を担い、自らが若者の交流イベントを開催し、様々な技師会事業にも参加していきます。青年部員として名乗り出て下さった 12 名による今後の活動について、温かく見守って頂けたら幸いです。

災害時における医療救護活動については、茨城県並びに関東甲信越臨床検査薬卸連合会との協定締結に至りました。これを受け、今年度より災害支援に関する研修会を開催してまいります。また、各種学術研修会も Zoom の利用も進めながら、積極的に開催してまいります。

会員、賛助会員の皆様には、何卒ご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。代表理事の挨拶といたします。

## 2026・2027 年度(公社)茨城県臨床検査技師会役員名簿

|    | 役職   | 職務             | 氏名     | 所属                        | 職歴 |
|----|------|----------------|--------|---------------------------|----|
| 1  | 会長   | 統括             | 大塚 光一  | 東京医科大学茨城医療センター            | 継続 |
| 2  | 副会長  | 総務（第 1）        | 篠崎 一也  | 総合守谷第一病院                  | 継続 |
| 3  | 副会長  | 学術（第 2）        | 馬場 由美子 | 友愛記念病院                    | 継続 |
| 4  | 副会長  | 渉外公益（第 3）      | 内藤 麻美  | つくば i-Laboratory 有限責任事業組合 | 継続 |
| 5  | 常務理事 | 総務局長（企画広報統括）   | 新発田 雅晴 | 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター      | 継続 |
| 6  | 常務理事 | 総務局次長（財務統括）    | 中村 浩司  | 筑波メディカルセンター病院             | 継続 |
| 7  | 理事   | 会計部長           | 花田 貴之  | 県北医療センター高萩協同病院            | 継続 |
| 8  | 理事   | 会計担当           | 吉田 菜穂子 | 水戸赤十字病院                   | 継続 |
| 9  | 理事   | 会計担当           | 小泉 幸恵  | 水戸済生会総合病院                 | 継続 |
| 10 | 理事   | 庶務部長(庶務統括・理事会) | 柳田 篤   | (株)日立製作所 日立総合病院           | 継続 |
| 11 | 理事   | 庶務（会員管理・組織）    | 串田 久子  | (株)江東微生物研究所 中央研究所つくば      | 継続 |
| 12 | 理事   | 庶務（会誌・会報）      | 柄澤 宏   | (株)日立製作所 ひたちなか総合病院        | 継続 |
| 13 | 理事   | 庶務（HP）         | 横山 千恵  | 筑波大学附属病院 検査部              | 継続 |
| 14 | 理事   | 学術研究部長（学術統括）   | 村田 佳彦  | 筑波大学附属病院 病理部              | 継続 |
| 15 | 理事   | 学術研究（精度管理）     | 鈴木 健太  | JA とりで総合医療センター            | 継続 |
| 16 | 理事   | 学術研究（研修会）      | 大枝 昭平  | 水戸中央病院                    | 新任 |
| 17 | 理事   | 学術研究（生涯教育）     | 新井 伸介  | 総合病院土浦協同病院                | 継続 |
| 18 | 理事   | 渉外公益部長（渉外公益統括） | 木村 靖子  | 総合病院水戸協同病院                | 継続 |
| 19 | 理事   | 渉外公益           | 石田 大士  | (株)日立製作所 ひたちなか総合病院        | 継続 |
| 20 | 理事   | 渉外公益           | 小坪 将江  | 総合病院土浦協同病院                | 継続 |

|    |    |  |       |                    |    |
|----|----|--|-------|--------------------|----|
| 21 | 監事 |  | 根本 誠一 | (株)日立製作所 ひたちなか総合病院 | 継続 |
| 22 | 監事 |  | 秋山 千晶 | 秋山税理士事務所           | 継続 |

|    |       |  |       |            |  |
|----|-------|--|-------|------------|--|
| 23 | 顧問    |  | 鈴木 広道 | 筑波大学附属病院   |  |
| 24 | 顧問    |  | 門馬 敏郎 | 協和中央病院     |  |
| 25 | 顧問    |  | 池澤 剛  | 龍ヶ崎済生会病院   |  |
| 26 | 顧問税理士 |  | 加藤 尚弘 | 加藤尚弘税理士事務所 |  |

## 2026 年度 通常総会経過報告

2026 年 5 月 31 日（日）、セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 4 階大研修室において 2026 年度通常総会が開催された。総会は議案書式次第に従い執り行われた。定刻に至り、中村総務局次長により開会が宣言されたのち、大塚会長より挨拶が行われた。議長団選出は会場内会員からの推薦はなく、執行部一任により滝本 将士氏と渡部 慎之介氏が選出され進行役は議長へ移された。

議長より資格審査員として吉澤 利紀氏が任命され承認された。

書記および議事録署名人選出は会場より推薦はなく、執行部一任により、書記に中村 里佳氏と寺尾 秀樹氏が、議事録署名人に唐澤 恵利華氏と永井 友和氏および大塚 光一会長が選出された。

資格審査報告が審査委員より行われ、5月31日現在、会員総数1,416名であり、本総会の本人出席者2名、書面表決総数1,065名、出席者総数1,067名で会員の過半数に達しており、本総会が有効に成立していることが報告された。

### 【第一号議案】 2025 年度事業報告

#### ・事業報告（新発田総務局長）

1 年間実施してきた事業展開の概要について報告が行われた。

「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが令和 5 年 5 月 8 日から 5 類感染症になり約 3 年が経過しました。行動制限などはほぼ解除され、技師会活動も研修会の現地開催に加え Web を利用してのハイブリッド形式やオンデマンド配信などの運用に取り組み、各種公益事業や共益事業などについても事業展開を図ってまいりました。

さて、2025 年度の主な事業展開ですが、タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会は 10 回の開催を重ね、現在 663 名（2026 年 4 月 13 日時点）が全カリキュラムを修了しています。今年度より茨城県での開催から各支部での開催となりますのでご承知おきください。」と報告された。

「2025 年度の『全国「検査と健康展」in Ibaraki』では、市民公開講座として筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター総合診療科の小林裕幸教授を迎え、「眠っている間の生活習慣病～睡眠時無呼吸症候群とは～」をご講演いただきました。睡眠時無呼吸症候群の発見のきっかけや、治療しない場合の危険性を分かりやすく解説され、家族の気付きが重要であること、日本に推定 400 万人の患者がいるにもかかわらず治療者は 50 万人にとどまる現状など、啓発活動につながる内容でした。また、健康チェックでは体組成・血管年齢・骨密度・物忘れの 4 項目を臨床検査技師が担当し、結果に基づく個別アドバイスを実施。来場者からは安心したとの声が寄せられました。今回はつくば国際大学にもご協力いただいて、臨床検査技師の仕事紹介も行い、次世代への啓発にもつながりました。」と報告された。

「その他、公益事業 I としては延期されていた第 30 回 臨床検査フォーラムをテーマ「知ろう、学

ぼう、いびきと睡眠時無呼吸症候群!」とし無事に開催できました。内容としては、講演1として「睡眠時無呼吸症候群の検査について」を独立行政法人国立病院機構茨城東病院 福岡佑基技師、講演2として「健康な眠りへの道：睡眠時無呼吸症候群のリスクと対策」を筑波大学医学医療系呼吸器内科学 森島祐子先生をお迎えしご講演いただきました。参加者は200名と多くの方にご聴講いただき、非常に有意義なフォーラムとなりました。

学術研究部門においては、各部門・分野毎にWebによる研修会、講演会が企画され、昨年度はほぼ計画通り開催ができました。開催数は35件と前年より増加しました。いずれも充実した内容の研修会で参加された方々の知識、スキルアップに貢献できたと思います。2026年度も引き続き、現地での研修とWeb研修をうまく活用した開催が見込まれます。

精度管理事業においては、2024年度より参加施設が若干減少し茨臨技サーベ이를88施設の参加にて実施しました。また、茨城県および水戸市からの指示により、3施設の登録衛生検査所に対して監査を実施し、3名の監査員を派遣しました。」と報告された。

「公益事業Ⅳ「行政機関及び関連団体への協力事業」では2025年度は主な活動実績はありませんが、引き続き協力していきたいと考えております。また、総合監理人財育成部会による人財育成事業である「水戸塾」を2026年2月28日（土）に開催しました。2026年度より茨臨技青年部[水戸塾]が立ち上がります。三役、理事、青年部で水戸塾を盛り上げていきたいと思っております。」と報告された。

最後に、予定事業の遂行に関して、会員、賛助会員ならびに関連団体のご協力に対し御礼と感謝の意が述べられた。

#### ・庶務部報告

##### （1）組織厚生関連報告（串田理事）

会員異動は、施設数156施設、会員数1,387名、賛助会員55社であること、慶弔関係1件であったことが報告された。

##### （2）広報編集関連報告（柄澤理事）

茨臨技会報第91号、92号の発行、茨臨技会誌第103号の発行、編集委員会3回の開催、ホームページ更新状況について報告された。

#### ・学術研究部関連報告（村田学術研究部長）

学術部門関係会議、精度管理関係会議、学術査読関係会議についての開催状況が報告された。研修会もWeb開催となったが、開催数は全部門で35回となったことが報告された。

#### ・精度管理事業関連および県委託事業経過報告（鈴木理事）

2025年度精度管理調査は、例年と同様に県内159施設へ実施案内および参加申込書を送付し、参

加施設は88施設であったと報告された。また、2025年度の登録衛生検査所外部精度管理調査は、茨城県保健福祉部医療局医療人材課および水戸市保健所保健総務課医事薬事室からの委託事業として登録衛生検査所10施設を対象に実施した。調査報告に関しては茨城県保健福祉部医療局医療人材課および水戸市保健所保健総務課医事薬事室へ報告書を送付したと報告された。

・渉外公益事業部関連報告（木村渉外公益部長）

「全国「検査と健康展」は、臨床検査の重要性を広く一般の方々に啓発することを目的として、臨床検査月間である11月に全国47都道府県で一斉に開催されているイベントです。茨城県臨床検査技師会においても例年この取り組みを実施しており、2025年度も感染防止に十分配慮しながら、対面形式にて健康チェックおよび市民公開講座を実施いたしました。

今回は、会場をイオンモール水戸内原に設定し、当日は約70名の市民の皆さまにご来場いただきました。

健康チェックでは、体組成検査、血管年齢検査、骨密度検査、そして物忘れ検査の4項目を実施いたしました。各検査は臨床検査技師が担当し、測定結果に基づいた個別の健康アドバイスを行いました。来場者からは、「分かりやすく説明してもらえて安心した」「自分の健康状態を見直す良いきっかけになった」などの感想が寄せられ、臨床検査技師と市民との交流の場としても有意義な時間となりました。

市民公開講座では、筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター総合診療科教授 小林裕幸先生を講師としてお迎えし、「眠っている間の生活習慣病 ～睡眠時無呼吸症候群とは～」をテーマにご講演いただきました。小林先生は総合診療とスポーツ医学がご専門で、自身の診療経験から、睡眠時無呼吸症候群が見つかるきっかけや、治療しなければどうなるかを、わかりやすく講演してくださいました。家族など本人以外の気づきが大切なこと、日本には少なく見積もっても400万人の患者がいるのに治療を受けているのは50万人しかいないことなど、これからの啓発活動につながる有意義な内容でした。

今回はつくば国際大学にもご協力いただき、臨床検査技師の仕事紹介や養成校の紹介も企画に盛り込みました。これらの活動を通じて、次世代に臨床検査の大切さを伝えることもできました。

本イベントを通じて、市民の皆さまとの直接的な交流を図りながら、臨床検査の社会的役割について再認識する貴重な機会となりました。今後もこうした取り組みを継続し、地域の健康支援および医療啓発活動に努めてまいります。」と報告された。

質疑応答

・なし

第一号議案については、賛成多数により承認された。

書面表決票での承認 1,065 名、挙手 0 名

【第二号議案】 2025 年度収支決算報告（花田会計部長）

・収入の部

会費収入 9,650,000 円、正会員入会金収入 58,500 円、補助金収入 1,729,727 円、事業収入 3,349,000 円、雑収入 1,323,460 円、当期収入合計 16,110,687 円、前期繰越収支差額 1,104,634 円、収入合計 17,215,321 円と報告された。

・支出の部

管理費 4,587,877 円、事業費 10,601,505 円、支出合計 15,189,382 円、差引残高は 2,025,939 円と報告された。

・公益事業準備資金収支決算

収入・支出ともに 0 円、収支差額は 0 円と報告された。

財産目録、公益目的保有財産、貸借対照表、正味財産増減計算書内訳表については、2026 年度通常総会議案書を参照。

質疑応答

・なし

第二号議案については、賛成多数により承認された。

書面表決票での承認 1,065 名、挙手 1 名

【第三号議案】 監査報告（根本監事）

事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録および収支計算書はすべての重要な点において適正に表示されている。定款第 40 条に基づき、2025 年度の監査結果については適切であり、理事の職務執行に関する不正の行為、および法令又は定款に違反する重大な事実は認められないと報告された。

質疑応答

・なし

第三号議案については、賛成多数により承認された。

書面表決票での承認 1,065 名、挙手 0 名

【第四号議案】 2026 年度事業計画（案）について（大塚会長）

公益事業Ⅰ～Ⅳ、共益事業Ⅰ、Ⅱについて説明された。「公益事業Ⅰ 疾病予防啓発キャンペーン活動の開催期日は未定、全国「検査と健康展」は 2026 年 11 月 15 日（日）ホテルレイクビュー水戸で第 42 回茨城県臨床検査学会と同時開催、臨床検査フェアは学会開催のため今年度の開催はなし、臨床検査フォーラムは 2027 年 2 月に開催予定」と報告された。公益事業Ⅱについて「今年度も Zoom の利用を進めながら、臨床検査技術のスキルアップと知識向上を目指して基礎的な内容から実習までと活発に活動を計画していきたい」と報告され茨城県臨床検査学会の概要についても報告された。公益事業Ⅲについて「精度管理事業は 2026 年 10 月に実施予定」と報告された。

また、共益事業Ⅰ 広報事業 会誌・会報について、共益事業Ⅱ 青年部[水戸塾] による研修会開催、賛助会員懇談会の開催についての報告がされた。

共益事業Ⅰ 広報事業における会誌・会報発行形態の見直し（デジタル化）について柄澤理事より次のように説明があった。「会員向け情報発信として会誌および会報を冊子体で発行してきましたが、近年の印刷費・郵送費の増加、会員の情報取得手段のデジタル化の進展、ならびに環境負荷低減への社会的要請を踏まえ、発行形態の見直しが必要な状況となっています。また、日本臨床衛生検査技師会においては、学術論文誌「医学検査」が 2026 年 1 月より紙媒体が廃止され、全国的にも学会誌・会報のデジタル化が進んでいます。以上を踏まえ、本会においても運営コストの削減および環境への配慮を目的として、会誌・会報のデジタル化を実施することについてご審議をお願いするものです。見直しの内容は会誌の冊子体での発行を廃止し、年 1 回の PDF 形式による電子版会誌を作成し、茨臨技ホームページ会員専用ページに掲載する。電子版学会誌として ISSN の付与を申請する。会報については冊子体での発行を廃止し、会報に掲載していた情報は、茨臨技ニュースに統合し、随時配信とする。ISSN とは学会誌や雑誌などを国際的に識別するための登録番号で、電子化後も学術誌としての位置づけを保つために用いられる番号です。

期待される効果として印刷費・配送費削減による運営コストの軽減（年間約 90 万円）、情報発信の迅速化・利便性の向上、紙資源削減による環境負荷の低減、学術誌としての体裁・検索性の維持が挙げられます。留意事項として電子版会誌・会報の運用にあたっては、個人情報の取り扱いに関する運用ルールを定め、適切に対応します。掲載する個人情報は、氏名、所属、役職等、会の活動紹介に必要最小限の範囲とし、顔写真や集合写真を掲載する場合は、事前に本人の同意を得たもののみ掲載します。本人の同意を得られていない場合は、画像加工等により本人が特定できない形で掲載します。電子版会誌は会員専用 Web サイトに掲載し、会員以外が自由に閲覧できない形で公開します。寄稿原稿や報告記事については、投稿者に対し、個人情報の掲載可否を事前に確認します。原稿内に第三者が含まれる場合は、不要な個人情報の記載を避けます。運用開始後は、状況や会員

の意見を踏まえ、必要に応じて運用ルールを見直します。実施時期について本議案承認後、2026 年度より運用を開始します。初年度は試行期間とし、必要に応じて見直しを行ってまいります。会誌および会報の発行形態について、冊子体を廃止し、デジタル形式へ移行することを承認願います。」と報告された。

質疑応答

・なし

第四号議案については、賛成多数により承認された。

書面表決票での承認 1,065 名、挙手 1 名

【第五号議案】 2026 年度予算案（花田会計部長）

2026 年度収支予算（案）、公益事業準備資金収支予算（案）について説明された。

・収入の部

会費収入 9,640,000 円、正会員入会金収入 100,000 円、補助金収入 1,890,000 円、事業収入 4,331,000 円、寄付金収入 0 円、雑収入 403,000 円、当期収入合計 16,364,000 円、前期繰越収支差額 0 円、収入合計 16,364,000 円と報告された。

・支出の部

管理費 4,551,000 円、事業費 11,813,000 円、支出合計 16,364,000 円、差引残高は 0 円と報告された。

質疑応答

・なし

第五号議案については、賛成多数により承認された。

書面表決票での承認 1,065 名、挙手 2 名

【第六号議案】 外部監事報酬について（新発田総務局長）

外部監事の報酬について年 5 回の出席を上限とし、年間税込 100,000 円の報酬を支払うと説明された。

質疑応答

・なし

第六号議案については、賛成多数により承認された。

書面表決票での承認 1,064 名、挙手 2 名

【第七号議案】 定款変更について（新発田総務局長）

「第 4 章 総会 第 14 条の通常総会開催月の変更について、現状は第 14 条 総会は、通常総会として毎年度 5 月に 1 回開催するほか、臨時総会として 3 月および必要がある場合に開催する。という内容を第 14 条 総会は、通常総会として毎年度 5 月または 6 月に 1 回開催するほか、臨時総会として必要がある場合に開催する。と変更いたします。変更理由は、顧問税理士による会計収支の確認作業とその後の会計監査の日程を考慮すると、通常総会の日程に幅を持たせる必要があるためです。」と報告された。

質疑応答

・なし

第七号議案については、賛成多数により承認された。

書面表決票での承認 1,064 名、挙手 2 名

【第八号議案】 2026・2027 年度役員候補者について（新発田総務局長）

（理事の選任）

|        |                     |        |                     |
|--------|---------------------|--------|---------------------|
| 大塚 光一  | 書面表決 1,064 名、挙手 2 名 | 篠崎 一也  | 書面表決 1,051 名、挙手 2 名 |
| 馬場 由美子 | 書面表決 1,052 名、挙手 2 名 | 内藤 麻美  | 書面表決 1,062 名、挙手 2 名 |
| 新発田 雅晴 | 書面表決 1,052 名、挙手 2 名 | 中村 浩司  | 書面表決 1,062 名、挙手 2 名 |
| 花田 貴之  | 書面表決 1,062 名、挙手 2 名 | 吉田 菜穂子 | 書面表決 1,062 名、挙手 2 名 |
| 小泉 幸恵  | 書面表決 1,052 名、挙手 2 名 | 柳田 篤   | 書面表決 1,052 名、挙手 2 名 |
| 串田 久子  | 書面表決 1,052 名、挙手 2 名 | 柄澤 宏   | 書面表決 1,052 名、挙手 2 名 |
| 横山 千恵  | 書面表決 1,062 名、挙手 2 名 | 村田 佳彦  | 書面表決 1,062 名、挙手 2 名 |
| 鈴木 健太  | 書面表決 1,052 名、挙手 2 名 | 大枝 昭平  | 書面表決 1,061 名、挙手 2 名 |
| 新井 伸介  | 書面表決 1,052 名、挙手 2 名 | 木村 靖子  | 書面表決 1,062 名、挙手 2 名 |
| 石田 大士  | 書面表決 1,052 名、挙手 2 名 | 小坪 将江  | 書面表決 1,062 名、挙手 2 名 |

（監事の選任）

|       |                     |       |                     |
|-------|---------------------|-------|---------------------|
| 秋山 千晶 | 書面表決 1,054 名、挙手 2 名 | 根本 誠一 | 書面表決 1,058 名、挙手 2 名 |
|-------|---------------------|-------|---------------------|

## 質疑応答

- ・なし

第八号議案については、賛成多数により承認された。

## 【その他追加提案】

- ・なし

## 【質疑応答】

- ・なし

議案審議が全て終了し、議長、資格審査員、議事録署名人、書記が解任された。

司会者より閉会宣言がなされ、総会は終了した。

以上、2026 年度通常総会の経過報告とする。

総務局長：新発田 雅晴

## 2026 年 5 月 31 日 通常総会のようす



## 2026・2027 年度 新理事あいさつ

### 【副会長 総務（第1）】篠崎 一也 総合守谷第一病院



新役員体制の発足にあたり、引き続き副会長として茨臨技の運営に携わることとなりました。会員の皆様のご期待に応えるべく、身の引き締まる思いです。今期は長年培われた水戸塾の精神を継承しつつ、将来を担う若手技師が施設・県境を超えて互いに研鑽し合い、活躍できる場としての青年部創設など、次世代のネットワーク構築に一層注力してまいります。会員の皆様により一層のご指導とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 【副会長 学術（第2）】馬場 由美子 友愛記念病院



副会長（学術担当・第2）を2期目として拝命いたしました、友愛記念病院の馬場と申します。今期は新たに1名の理事を迎えた学術部体制のもと、活動をスタートいたしました。会員の皆様が学び交流できる機会の充実を図るとともに、学術活動のさらなる活性化に努めてまいります。

また、学術部以外では災害対策研修会や関甲信支部・首都圏支部人材育成研修会にも携わってまいります。「参加して良かった」と感じていただける温かく活気ある場づくりを目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

### 【副会長 渉外公益（第3）】内藤 麻美 つくばi-Laboratory 有限責任事業組合



このたび、2026・2027年度茨城県臨床検査技師会理事（副会長）を拝命するとともに、日本臨床衛生検査技師会理事に就任いたしました。これまで副会長として活動する中で、多くの会員の皆様から温かいご支援とご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。今後は茨城県技師会と日臨技をつなぐ役割を担いながら、学術活動の充実、人材育成、品質保証の推進、そして多様な会員が活躍できる環境づくりに努めてまいります。会員の皆様の声を大切に、臨床検査技師のさらなる発展と県民医療への貢献に尽力してまいります。今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【常務理事 総務局長（企画広報統括）】新発田 雅晴

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター



この度、2026 年度通常総会におきまして、2026 年度・2027 年度の理事に任命され、引き続き総務局長を担当させていただくことになりました。前期の経験を活かし、スムーズな情報伝達を進めてまいります。また、今年度は県学会が北東地区担当で開催され、学会長を務めさせていただきます。現在、運営担当が必死に準備を進めております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。演題登録の募集が始まっておりますので、皆様からの多数のご発表をお待ちしております。

【常務理事 総務局次長（財務統括）】中村 浩司 筑波メディカルセンター病院



この度、先の通常総会におきまして 2026・2027 年度の常務理事を拝命し、総務局次長（財務統括）を担当することとなりました。理事就任は 3 期目となり、三役会の重責に身の引き締まる思いです。諸先輩方のご指導を賜りながら、技師会の発展と会員の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。今年度もタスク・シフト/シェア講習会を開催いたします。未受講の皆様には、ぜひご参加いただければ幸いです。

【会計部長】花田 貴之 県北医療センター高萩協同病院



このたび、茨臨技会計部部長を務めることになりました花田貴之でございます。まずは、皆さまより信任いただきましたことに深く感謝申し上げます。

理事会計部として 3 期目になりますがバックオフィスとして、より良い組織運営ができるよう、微力ながら尽力してまいります。

また、私一人でできることは限られていますので、皆さまのお力添えをいただきながら、チームとしてより良い活動を進めたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

【会計担当】吉田 菜穂子 水戸赤十字病院



理事 3 年目の年となります。まだまだ不慣れな点が多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、緊張感をもって精一杯努めてまいります。

今年度は茨城県臨床検査学会開催予定であり、一大イベントに向けて総力を挙げて準備を進めているところです。多くの方々に参加していただきたいと思っております。会員の皆様にもご協力のほどよろしくお願いいたします。一緒に盛り上げていきましょう。

【会計担当】小泉 幸恵 水戸済生会総合病院



2026 年の通常総会におきまして、2026・2027 年度の理事に任命され、会計を担当させていただくことになりました。

茨臨技の活動としましては、これまで生理機能検査部門の分野委員を担当させていただきました。理事の就任は今回二期目になりますが、まだ不慣れなところもあります。これから諸先輩方にご指導いただきながら、会員の皆様のお役に少しでも立てるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。

【庶務部長（庶務統括・理事会）】柳田 篤 (株)日立製作所 日立総合病院



2026 年度通常総会において理事に任命され、引き続き庶務部長を担当することになりました。2022年度の就任以降、Web研修の定着や日臨技会誌・会員証のデジタル化など、急速なDXの進展を実感しております。これに伴い、茨臨技におきましても今年度より会誌および会報の電子化を推進する予定です。

庶務部では会員の皆さまと理事がより円滑に活動できるよう、これまで以上に分かりやすく、積極的な情報発信に努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

【庶務（会員管理・組織）】串田 久子 (株)江東微生物研究所 中央研究所つくば



この度、2026 年度の通常総会におきまして、2026・2027 年度の理事に任命され、前年度に引き続き庶務の「会員管理・組織」を担当させていただくことになりました、(株)江東微生物研究所中央研究所つくばの串田です。1期目は先輩方にご指導をいただきながら、会員管理業務などに携わってまいりました。2 期目となる今回は、より一層会員の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っております。茨城県臨床検査技師会の活動がより充実したものとなるよう、精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【庶務（会誌・会報）】柄澤 宏 (株)日立製作所 ひたちなか総合病院



このたび、2026・2027 年度も引き続き、会誌・会報担当理事を務めさせていただくこととなりました。今年度より、会誌および会報は冊子体からデジタル形式へ移行し、本号からデジタル版としてお届けいたします。これまで以上に見やすく、タイムリーな情報発信に努めてまいります。

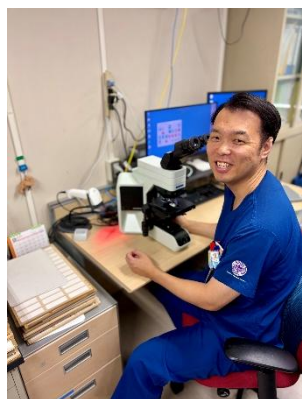
会員の皆様に親しまれ、日々の業務や学術活動に役立つ会誌・会報となるよう取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

【庶務（HP）】横山 千恵 筑波大学附属病院 検査部



引き続き茨城県臨床検査技師会理事を務めさせていただくこととなりました横山千恵です。私はこれまで、教育・研究活動を通じて人材育成に取り組んでまいりました。臨床検査の価値は、一人ひとりの技師の成長によって支えられています。理事として、ホームページを活用した情報発信の充実に努めるとともに、会員の皆さまが学び、つながり、成長できる環境づくりに貢献してまいります。

【学術研究部長（学術統括）】村田 佳彦 筑波大学附属病院 病理部



「而今生涯」。この言葉が好きで座右の銘にしています。この度、学術部長として2期目を務めることとなりました。日々の業務と学びの両立は大変かと存じますが、当会では年間30以上の研修会を企画し、その多くをオンデマンド配信しています。実技研修を伴う現地開催の研修会も企画しておりますので、「何かを始めるのに遅いことはない。」という想いのもと、皆様が気軽に参加できる学びの場を整えてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

【学術研究（精度管理）】鈴木 健太 JAとりで総合医療センター



このたび、精度管理担当理事を拝命いたしました、JAとりで総合医療センターの鈴木健太と申します。

理事就任から今年度で3年目を迎えますが、精度管理という重大かつ責任ある職務に携わる中で、その重みを日々痛感しております。

微力ではございますが、皆様のお力添えを賜りながら、より一層信頼される医療の提供に貢献できるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

【学術研究（研修会）】大枝 昭平 水戸中央病院



医療の現場では技術の進歩や概念の変遷は目まぐるしく進みます。患者様のための最良の医療の一翼を担うためには日々勉強の機会は欠かすことができず、自分の経験と照らしても、技師会が提供する各種研修会に助けられた場面は枚挙に暇がありません。

この度、理事として研修会を担当させていただけることを光栄に思いつつ、その重責を強く感じています。会員の皆様の学びの場がいまにも増して円滑に、かつ充実したものになるよう尽力していく所存です。

【学術研究（生涯教育）】新井 伸介 総合病院土浦協同病院



この度、2期目の理事として信任を賜り、深く感謝申し上げます。今期も引き続き学術研究（生涯教育）を担当し、1期目で得た経験を活かしながら、会員の皆様の学びと研鑽に資する事業の充実に努めてまいります。関係各位と連携し、円滑な運営を心掛けてまいりますので、今後ともご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

【渉外公益部長（渉外公益統括）】木村 靖子 総合病院水戸協同病院



茨城県臨床検査技師会理事を拝命いたしました木村靖子と申します。このような機会をいただき、誠にありがとうございます。身に余る大役に身の引き締まる思いです。

今期で理事 3 期目を迎え、引き続き渉外公益部長（渉外公益統括）を担当させていただくこととなりました。まだまだ至らぬ点も多く、皆様のお力添えをいただきながら進めてまいりたいと存じます。諸先輩の理事の皆様からのご指導を糧に、微力ながら会の発展のお役に立てるよう、誠心誠意努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

【渉外公益】石田 大士 (株)日立製作所 ひたちなか総合病院



今期も引き続き、渉外公益部を担当いたします。

微力ではございますが、皆様のお力添えをいただきながら、任期を全うする所存です。また、皆様のご協力とご支援のもと、今年度は茨城県臨床検査学会の実行委員長を担当させていただくことになりました。大役ではございますが、誠心誠意努めてまいります。

【渉外公益】小坪 将江 総合病院土浦協同病院



この度総会におきまして、理事を拝命いたしました小坪将江と申します。渉外公益部を担当させていただきます。このような重要な役職を今期もお引き受けすることとなり、身の引き締まる思いでございますが、前期での経験を活かし、茨城県臨床検査技師会の発展のため、また臨床検査技師お一人お一人のために尽力してまいります。経験不足ではございますが皆様からのご指導とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

# 功労者表彰を受賞して

2026年5月31日（日）、セキショウ・ウェルビーイング福祉会館4階大研修室において開催された公益社団法人茨城県臨床検査技師会2026年度通常総会において、「永年会員表彰」17名、「功労者表彰」7名が授与されました。

「功労者表彰」は、地域・地区での活動や当会の役員・専門委員・学術研究部門委員としての功績をたたえ、規定に基づき授与されるものです。

このたび、功労者表彰を受賞された皆様からコメントをお寄せいただきましたので、ご紹介いたします。

## 伊藤 俊徳 栄研化学 株式会社

この度は、功労者表彰を賜り、誠にありがとうございます。今回の授与につながったのは、私個人の力ではなく、多くの方々のご指導・ご支援の賜物であると深く感謝しております。

私はこれまで、感染症学検査部門微生物検査分野委員の精度管理担当として活動してまいりました。コロナ禍をはじめとするさまざまな厳しい局面もありましたが、会員をはじめとする周りの皆様のサポートにより、乗り越えることができました。活動の中で特に印象に残っているのは、水戸市民会館で開催した、茨城県主催の日臨技関甲信支部・首都圏支部微生物検査研修会です。医療の最前線で活躍する茨城県の先生方をお招きし、ご助力いただいた会員の皆様と共に、成功裏に終えることができました。分野委員としての経験と出会いは、自身を成長させてくれた貴重な時間でした。

最後になりますが、任期中にご指導を賜りました微生物検査分野の皆様、ならびにご協力いただきました茨臨技の皆様に感謝を申し上げますとともに、皆様の益々のご発展をご祈念いたします。

## 小林 摩努加 水戸済生会総合病院

この度は功労者表彰を受賞させていただき、会長をはじめ推薦委員の皆様、ならびに会員の皆様に心より厚く御礼申し上げます。

当時は勉強不足で戸惑うことも多くございましたが、無事に任期を全うできたのは、諸先輩方の温かいご指導と、分野委員の皆様の支えがあったからこそと、深く感謝いたしております。委員として貴重な経験を積む中で、臨床化学への学びを深め、他施設の皆様と有意義な情報交換を行えたことは、私にとって大きな財産となりました。今後も自己研鑽を忘れることなく、これまでの経験も活かして、微力ながら技師会のさらなる発展と次代を担う後輩たちの育成に貢献していく所存です。

末筆ではございますが、技師会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

## **永井 友和      つくば臨床検査教育・研究センターつくば i-Laboratory**

この度は功労者表彰を賜り、誠に光栄に存じます。これもひとえに、周囲の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

私は 2018 年度から 2025 年度にかけて免疫血清分野の分野委員として、茨城県技師会の活動に注力してまいりました。研修会に参加する側から企画する側となり、各部門の分野委員の皆様並びに講師を担当してくださる先生方への感謝を改めて感じることができました。2020 年から続いた COVID-19 蔓延による影響で、研修会も対面形式のものから Web 配信が主流となり盛り上がりには欠けるなどは考えていましたが、現地開催よりも参加しやすく参加人数が以前比べて増加してきたというプラスの発見もあり収穫になりました。ここ最近ハイブリッド型なども増えてきていてまた皆様にお会いできることとなり嬉しく思います。分野委員はやる気に満ち溢れた後輩に引き継ぐ形となりましたが、今後も微力ではございますが茨城県技師会の発展と皆様のご活躍のお手伝いができたら幸いと考え尽力していく次第でございますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## **戸祭 祐介      株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院**

このたびは、栄誉ある功労賞を賜り身に余る光栄に存じます。選考委員の皆様方ならびに会員の皆様方、また、技師会活動でご指導いただいた分野長ならびに分野委員の皆様方に厚く御礼申し上げます。短い期間ではありましたが、免疫血清分野委員として他施設の委員の方々と企画運営や精度管理事業に携わることができたことは検査の現場の知識や技術を得ることと同じように、とても貴重な経験で臨床検査技師の活躍の場は検査室だけではないと実感したことを思い出します。今後は今までの知識や経験を活かし臨床研修制度や専門医制度の運営にも貢献できるように引き続き精進していきたいと思っております。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## **松尾 綾子      筑波メディカルセンター病院**

この度は功労者表彰を賜りまして誠にありがとうございます。

大塚会長をはじめご推薦いただきました関係各位の皆様、またこれまで貴重なご指導ご助言をいただきました諸先輩方に心より御礼申し上げます。

細胞検査分野委員を拝命し、日常業務の枠を超えての活動を通して臨床検査技師という専門職の社会的役割と責任について学ぶ機会をいただきました。

この活動で得られた知識や経験が私にとって何よりの財産となっております。

今回の受賞を励みに、微力ではありますが自らが得た学びを若い世代へ還元できるよう尽力してまいります。



## 小野 伊緒理 つちだ内科泌尿器科クリニック

このたび功労者表彰を賜り、大変光栄に存じます。

臨床検査技師として 20 年以上勤務する中で、多くの患者様や医療スタッフの皆様を支えられながら今日まで歩んできたことができました。心より感謝申し上げます。

私はこれまで、検査技術の向上はもちろんのこと、「患者様のために何ができるか」を常に考えながら業務に取り組んでまいりました。検査結果の先には患者様の生活があり、その一つひとつに責任があることを忘れず、日々の仕事と向き合っております。また、認定検査技師の取得や業務改善への取り組みを通して、より良い医療環境づくりにも努めてまいりました。

今回の受賞は、私一人の力によるものではなく、これまでご指導いただいた諸先輩方や共に働いてきた皆様のお力添えがあってこそこのものと感じております。

この受賞を励みに、今後も学び続ける姿勢を大切にしながら、地域医療に貢献できる臨床検査技師でありたいと思います。

このたびは誠にありがとうございました。

## 國平 あゆみ つくば臨床検査教育・研究センターつくば i-Laboratory

このたび、茨城県臨床検査技師会より功労者表彰を賜り、大変光栄に存じます。心より感謝申し上げます。

私は 2015 年より 5 年間、一般検査分野委員を務めさせていただきました。委員活動では、研修会の企画・運営に携わり、演題内容の検討に苦慮したこともありました。参加者の皆様にとって有意義な研修となるよう、委員間で意見を出し合いながら準備を進めた経験は、今振り返っても貴重な学びであったと感じています。

また、サーベイではフォトサーベイ用検体の選定や細胞撮影などにも関わる機会をいただきました。普段の業務だけでは知ることのできない運営の裏側を経験し、多くの学びを得ることができました。特に、茨城県が担当した関甲信学会一般検査分野の運営では、多くの準備や調整が必要で大変な面もありましたが、委員の皆様と協力しながら無事に終えることができ、大きな達成感を得ました。

今回の受賞を励みに、今後も微力ながら臨床検査技師会活動に貢献してまいりたいと思います。

授与式の様子



# 青年部[水戸塾]のご紹介

部長 岩木 真聖

## ■ はじめに

茨城県臨床検査技師会の会員の皆様、日頃より大変お世話になっております。この度、新たに創設されました青年部にて部長を務めさせていただくことになりました、水戸協同病院の岩木真聖と申します。

次世代を担う若手臨床検査技師の交流と育成を目的として、新たに青年部が発足いたしました。私自身、これまで多くの先輩方に助けられ、ご指導いただいていた経験から、今度は自分たちが若手の活躍できる土台を作っていきたいと強く感じております。今回は、青年部立ち上げの背景や、私たちが目指す今後の活動内容についてご紹介させていただきます。

## ■ 創設の背景と青年部が目指すもの

本青年部が発足した背景には、これからの茨臨技を持続的に発展させていくためには、次世代の育成と若手同士のネットワークづくりが不可欠であるという考えがあります。将来の組織を担う基盤の一つとして、この度青年部は誕生いたしました。

青年部の主な役割として、若手ならではの視点やニーズをダイレクトに執行部へ届けるパイプ役となること、他県を含めた広域ネットワークを構築すること、そして次世代のリーダー育成に貢献することが挙げられます。

こうした目標に向かっていくため、まずは「誰もが気軽に参加できる環境」を整えることが最優先であると考えております。現在の医療現場では、施設の規模や役割によって若手技師が担当する業務の幅や専門性が大きく異なります。一つの検査分野に特化して専門性を深める環境もあれば、幅広い領域の検査を柔軟にこなすスキルが求められる環境もあり、それぞれの現場で得られる知見や悩みは多種多様です。

だからこそ、自施設の枠組みを一度飛び出し、異なる環境で活躍する同世代がどのように業務の工夫をし、どのようなキャリアを描いているのかを知ることは、日々のモチベーション向上や新たな視野の広がりにつながると考えております。

そこで青年部が目指すのは、若手技師が肩の力を抜いて参加できる「気軽に集まれるコミュニティ」を作ることです。施設間の垣根を越えて、日常業務のささいな疑問や情報交換を気兼ねなく行える、風通しの良いネットワークを提供してまいります。

同世代で意見を出し合い、試行錯誤しながら共に学び、他県の成功事例も取り入れながら活動の質を高めていく。そのプロセスを通じて自然と組織運営の仕組みを学び、将来の茨臨技を支える人材へと成長していく場となることが、青年部の目指す理想の姿です。

## ■ 今後の具体的な活動内容と展望

青年部が掲げる目標を実現していくため、現在は主に以下のような活動を予定・計画しております。

### ● 臨床検査技師を目指す学生へのアプローチ（大学での講演）

次世代を担う学生へのアプローチとして、大学の1年生を対象とした講演を予定しております。教科書や実習だけではなかなか伝わらない臨床のリアルな空気感やチーム医療の中で検査技師がはたす役割などを生の声として届けることで、臨床検査技師という職業へのモチベーションを高め、将来に向けた架け橋になればと考えております。

### ● 茨臨技学会における青年部セッションの企画

茨臨技の学会内において、青年部が主導するセッションを1枠担当する予定です。経験の浅い若手でも発言しやすい身近なテーマを設定し、同世代の技師同士で活発な意見交換や情報共有ができる場を作りたいと考えております。

### ● 関甲信支部・首都圏支部 人材育成研修会および若手技師会議への参加

茨城県内にとどまらず、関甲信支部・首都圏支部が主催する「人材育成研修会」、およびその翌日に開催される「若手技師会議」にも積極的に参加してまいります。他県で活動する同世代と直接交流し、各地域の成功事例や課題を共有することで、得られた知見を青年部の活動に還元し、より質の高いネットワーク構築につなげます。

### ● 多様なイベントの企画

これらの活動に加えて、若手技師が気軽に集まり、日々の業務の悩みや情報を共有できるようなイベントを随時企画していく予定です。枠組みを固定しすぎず、参加してくれるメンバーの意見やニーズを拾い上げながら、柔軟に様々な企画を形にしていきたいと考えております。

## ■ おわりに

最後になりますが、県内で働く若手臨床検査技師の皆さん、青年部は皆さん自身が主役となる場所です。日々の業務で困っていること、他施設の状況を少し聞いてみたいことなど、どんな些細なことでも共有できる場を目指しています。「まずは少し覗いてみようかな」という気軽な気持ちで、ぜひ活動に参加してみてください。同世代の仲間たちと、共に学び成長できることを楽しみにしています。

また、会員の皆様におかれましては、各施設に所属する若手技師へ、本青年部の活動への参加をお声がけいただけますと幸いです。

私たち青年部一同、茨臨技の未来を担うネットワークの構築に向けて、失敗を恐れず試行錯誤しながら挑戦していく所存です。まだまだ未熟ではございますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 《第 42 回茨城県臨床検査学会のご案内》



【開催日時】2026年11月15日（日）9:30～16:00

【会場】ホテルレイクビュー水戸

【テーマ】未来への礎～確固たる基礎を築く～

【演題・抄録募集期間】2026年7月6日（月）～8月21日（金）

【同時開催】全国「検査と健康展」in Ibaraki

○ 詳細は学会ホームページをご確認ください [公益社団法人 茨城県臨床検査技師会](#)



## 新(再)入会員報告

◆ 2025 年 12 月 1 日～2026 年 5 月 31 日 (順不同)

現在会員数 1420 名（北東地区 587 名 南西地区 833 名）

| 北東地区 11名               |    |
|------------------------|----|
| 医療法人社団協栄会 大久保病院        | 1名 |
| 呉羽総合病院                 | 1名 |
| 社会福祉法人恩賜財団 済生会 神栖済生会病院 | 1名 |
| 医療法人社団善仁会 小山記念病院       | 1名 |
| 独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター  | 2名 |
| 水戸赤十字病院                | 1名 |
| 医療法人 東湖会 鉾田病院          | 1名 |
| 所属未入力                  | 3名 |

| 南西地区 40名                        |     |
|---------------------------------|-----|
| 筑波大学人間総合科学等医学支援室                | 1名  |
| ホスピタル坂東                         | 1名  |
| つくば臨床検査教育・研究センターつくばi-Laboratory | 1名  |
| つくば国際大学                         | 1名  |
| 筑波大学附属病院                        | 3名  |
| 東京医科大学茨城医療センター                  | 2名  |
| 筑波メディカルセンター病院                   | 2名  |
| 総合病院土浦協同病院                      | 4名  |
| 龍ヶ崎済生会病院                        | 3名  |
| 取手北相馬保健医療センター医師会病院              | 1名  |
| 総合守谷第一病院                        | 1名  |
| 医療法人社団 柴原医院                     | 1名  |
| 茨城県西部メディカルセンター                  | 1名  |
| JAとりで総合医療センター                   | 2名  |
| 特定医療法人つくばセントラル病院                | 1名  |
| 医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院              | 1名  |
| 所属未入力                           | 14名 |

## 茨臨技入会のご案内

公益社団法人茨城県臨床検査技師会（茨臨技）は臨床検査に関する知識と技術の向上を図り、併せて県民の医療と福祉に貢献することを目的としております。

### 1. 主な事業として

- ①学会、講習会、研究会の開催 ②臨床検査精度管理 ③会誌、会報、その他調査資料の刊行、ホームページの運用 ④その他本会の目的を達成するために必要な事業

### 2. 会員の特典として

- ①すべて平等に本会の事業および運営に参加することができます。
- ②日本臨床衛生検査技師会（日臨技）、日本臨床衛生検査技師会関甲信支部地区（関甲信）、および本会主催の学会や講習会の通知を受けます。
- ③日臨技、関甲信、本会主催の学会や講習会に演題の発表並びに会誌に論文を発表することができます。
- ④日臨技、本会の会誌の無料配布が受けられます。
- ⑤日臨技、本会主催の臨床検査精度管理事業に参加できます。
- ⑥日臨技生涯教育研修制度に伴う生涯学習が受けられます。
- ⑦その他種々の案内

### 3. 会費について

年 額 16,000 円（日臨技 10,000 円、茨臨技 6,000 円）

入会金 3,000 円（日臨技 2,000 円、茨臨技 1,000 円（再入会 500 円））

### 4. 入会の手続きについて

①入会を希望される方は、日臨技のホームページの入会専用ページから Web 入会申請をしてください。入会専用ページの案内に従って「入会申込書」「年会費口座振替依頼書」をプリントアウトし、一部記入、押印して、日臨技事務局に郵送してください。その際、所属技師会を明記する必要があります。

②年会費（日臨技＋茨臨技）と入会金の払い込みは、初年度のみコンビニ払いとなります。

なお、技師会の会費は 4 月より翌年の 3 月までです。例えば、2 月、3 月の入会については前年度分の会費として取り扱い、4 月より新年度の会費が必要となります。

### 5. 入会および技師会に関するお問い合わせ（技師会事務所）

【公益社団法人 茨城県臨床検査技師会】

茨臨技ホームページ <https://www.iams.or.jp/>

メールアドレス ibaringi@ibaraki-amt.jp

〒310-0851 水戸市千波町 1918-1（セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 3F）

TEL 029-244-4790 / FAX 029-244-5063

受付時間 10：00～15：00（月・水・金） 事務員対応



## 諸手続きの申込みおよび問い合わせ

### ✓入会・退会・改姓・勤務先異動等の諸手続き

【一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会】

日臨技ホームページ [一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会](http://www.jamt.or.jp/)

メールアドレス [jamt@jamt.or.jp](mailto:jamt@jamt.or.jp)

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

TEL 03-3768-4722 / FAX 03-3768-6722



### ✓技師会への要望・意見・質問、求人・就職に関する情報、慶弔規定に基づく慶弔金の請求等

【公益社団法人 茨城県臨床検査技師会】

茨臨技ホームページ <https://www.iams.or.jp/>

メールアドレス [ibaringi@ibaraki-amt.jp](mailto:ibaringi@ibaraki-amt.jp)

〒310-0851 水戸市千波町1918-1（セキショウ・ウェルビーイング福祉会館3F）

TEL 029-244-4790 / FAX 029-244-5063

受付時間 10:00～15:00（月・水・金） 事務員対応



### ✎ 2026/2027 年度 広報委員会 ✎

|            |                      |
|------------|----------------------|
| 委員長：柳田 篤   | (株)日立製作所 日立総合病院      |
| 副委員長：串田 久子 | (株)江東微生物研究所 中央研究所つくば |
| 委員：柄澤 宏    | (株)日立製作所 ひたちなか総合病院   |
| 委員：新井 伸介   | 総合病院土浦協同病院           |
| 委員：横山 千恵   | 筑波大学附属病院             |
| 委員：遠藤 祥子   | 総合病院水戸協同病院           |
| 委員：木下 君枝   | JA とりで総合医療センター       |
| 委員：古谷 哲也   | 茨城西南医療センター病院         |
| 委員：沼波 亮一   | (株)日立製作所 ひたちなか総合病院   |
| 委員：尾身 俊幸   | (株)日立製作所 日立総合病院      |
| 委員：米川 伸生   | 水戸済生会総合病院            |